

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 川口青木教室 保護者等数(児童数) 47 回収数 47 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38件	6件	0件	3件	退職者が多いように感じる。療育に影響が出ないか心配。	求人の方と共に、退職者が出ないような工夫も合わせておこなっていきます。療育に影響が出ないように仕組みの見直し、改善をしていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27件	10件	0件	10件	職員が減ることでの時間や日数変更の連絡を早い段階でくれている。安全を考えてくれている誠実な対応だと感じます。	引き続き、安全第一に努め、変わらず小さなことも保護者様に連絡をして情報共有を大切にしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23件	5件	0件	19件	小さい子用のトイレがあるのは素晴らしいです。部屋の中はわからない。	療育参観などで室内を見てもらえる機会を作り、気になることがあれば改善を検討していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	45件	0件	0件	2件	面談の時にいつも話を聞いて下さり感謝です。本人の課題を共有でき心強いです。	引き続き丁寧な説明を十分におこなってまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	44件	1件	0件	2件	曜日固定になっていないのでいろいろなことができる。	保護者様からのご家庭での困り事やご意見などを参考に、引き続き工夫しておこなってまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6件	13件	8件	20件		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	47件	0件	0件	0件	定期的な面談がある為相談しやすい。	今後も不明点が出ないように気をつけて対応していきながら、相談しやすい雰囲気づくりも大切にしていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	45件	2件	0件	0件	ソラプロ(連絡帳)に出来事を書くこととそれに対しての返信も書いてくれるので話しやすくなる。	引き続き、連絡帳や送迎時の対応の際にお子様の様子を伝え、発達の状況や課題について、共通理解につとめてまいります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	45件	2件	0件	0件		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12件	10件	17件	8件	コロナのため開かないのは妥当だと思う。ここ数年はコロナによる心配から開催を見送っているという認識です。	人数調整や開催期間など、工夫をして座談会といった保護者様が交流できる場の提供をしていけるように検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	35件	3件	0件	9件	苦情を出したことはありませんが、万が一ご相談することがあっても適切に対応して下さるものと思います。苦情はないです。	引き続き苦情が出ないように努めてまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43件	2件	0件	1件	困り事や出来事をいつも丁寧に対応下さり満足しています。細かいことも報告してくれるので安心です。	今後も継続して共有漏れなどないように気をつけてまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	45件	1件	0件	1件		
14 個人情報に十分注意しているか	47件	0件	0件	0件			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	38件	4件	0件	5件		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	41件	1件	0件	5件	防災学習の話をしてくれることがある。	引き続き避難訓練を実施していきながら、災害時への備えを見直していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	45件	1件	1件	0件	お友達や先生に会うことを楽しみにしている。学校で嫌なことがあると行きたくないこと	今後もお子様一人一人が楽しめるように活動内容を工夫していきながら、学校生活での話を聞いたり気持ちに寄り添った関わりを心掛けていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	45件	2件	0件	0件	子どもだけでなく親の心の拠り所にもなっている。学校で嫌なことがあると行きたくないこと	引き続き満足のいく支援を心掛け、子ども達だけでなく、保護者様にも寄り添った関わりをしていきたいと思います。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 川口青木教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4件	4件	本棚での仕切りや宿題スペースの確保。	狭さを感じにくいように限られたスペースを有効活用できるように工夫していく。
	2 職員の配置数は適切である	2件	6件	利用児童数の調整をしている。求人を含めている。	人材の確保と求人増加を目指し、ホームページから見直し、修正をおこなっていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4件	4件		現在の利用児童については不便なく思うが、必要に応じて改善を図るように心掛けていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4件	4件	朝会、夕会での確認	現在少し滞っている為改めてしっかりとおこなっていく形にしたい。コミュニケーションを取りやすくなるように心掛け、会議などで意見を出しやすくして業務改善をしていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8件	0件	保護者アンケートの際に独自のアンケートも実施。一覧表にして周知。	今後も実施していき、意見を参考に順次業務改善に繋げていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4件	4件		ホームページだけでなく、事業所のお知らせとしての発行も検討していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1件	7件		現時点では第三者評価については実施しておらず、今後については検討。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4件	4件	研修のお知らせ。	職員それぞれの研修時間の確保をしていくと共に自主的な研修だけでなく、定期開催の社内研修の機会を増やしたり、研修に参加しやすい環境を整えていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8件	0件	アセスメントの形式を保護者のニーズに合わせている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8件	0件	Vineland II 適応行動尺度を導入し始めた。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3件	5件	朝会で意見の交換や改善がおこなわれている。	担当職員個人の裁量が多い現状もある為、より話し合いや共有の機会を作り、全体の意見を取り入れながら取り組める形にしていきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8件	0件	月毎に変更の工夫。繰り返しおこなうものも児童の興味を引くような工夫をしている。	引き続き適時新しいアイデアも取り入れながら、季節に合わせた活動など固定化しないように工夫していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8件	0件	朝会の時点でもその日の課題を確認している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7件	1件	個別の取り組みも適時おこなっている。	職員体制の関係で個別の取り組みが不足する日もある為、取り組み時間や取り組み方を見直ししていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7件	1件	個別対応や当日の動きを朝会で確認。	プログラム内容や役割分担の周知が不透明な時もある為、朝会での確認を強化していきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8件	0件	重要事項は共有ノートや週報で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8件	0件		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7件	1件		おこなっていることを全員が把握しているように徹底していく。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7件	1件		おこなっていることを全員が把握しているように徹底していく。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6件	2件		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7件	1件	毎月下校時刻表の連絡をもらっている。公式LINEを活用し、適時連絡調整を行っている。	送迎時の確認も含めて、学校との連携を強化していきたい。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1件	7件		今後必要な児童を受け入れた際には、対応していけるように整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4件	4件	児童発達との情報共有は行なっている。	外部からの児童の保育所や幼稚園などとの連携も保護者のニーズに応じて対応していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1件	7件	進路に向けた講演会の開催。	卒業後、今後の方針や進路を心配している保護者の方が多くみられる印象なので適切な対応で情報共有をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1件	7件		研修を受けている職員からの共有も含めて定期的におこなえるように機会を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0件	8件		他の事業所との交流状況など確認しながら、青木教室でおこなえる交流を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0件	8件		定期的な参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7件	1件		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1件	7件		適切なペアレントトレーニングを提供できるように環境を整えていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7件	1件		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件	3件	相談があった際は一人の職員のみ意見にならないように共有して対応している。	教室全体として適切に応じたいけるように職員間での連携も強めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0件	8件		座談会の開催を年間スケジュールに組み込めるように検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7件	1件	苦情があった際にはすぐに職員間で内容を確認し、迅速な対応に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8件	0件	月に一度ニュースを発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	8件	0件		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8件	0件		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0件	8件		職員体制も含めて状況を見ながら、戸塚教室との連携イベント開催などで取り組めるか検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1件	7件		周知は不十分と感じる為、定期的にマニュアルの配布などを行い、対応していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件	2件	防災、防犯学習や避難訓練を行っている。	職員側の訓練はより強めていけるように訓練の機会を増やしていきたい。また、引き渡し訓練の実施も検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件	2件	虐待防止委員会を設立。	全体で周知していけるように情報の共有を徹底していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6件	2件		現時点で対象児童はいないが、職員間で実情を把握しているように徹底していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0件	8件	アレルギーの情報収集はおこない一覧にしている。	留意しているが医師の指示書は未確認の為、該当するご家庭には指示書の有無の確認を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7件	1件	夕会で今日のヒヤリハットについて確認をしている。	作成と共有はされているが、改めての振り返りは不足している為、月単位でおこなっていくなど振り返りと共有を強化していく。